

硬膜外麻酔分娩管理マニュアル

1) 基本的方針

- ・当院では希望者全員が無痛分娩を選択できる
- ・麻酔の開始時期は24時間可能なオンデマンドとする
- ・麻酔方法は硬膜外麻酔とする

2) インフォームドコンセント

- ・外来妊婦健診時（28週頃）に無痛分娩説明書・承諾書を渡し、内容に同意したらサインをして、32週頃までに提出してもらう

3) 硬膜外麻酔の実施

- ・薬剤注入前に硬膜外カテーテルより、血液や髄液の逆流がないことを確認して投与
- ・医師が硬膜外麻酔処置後、テストの麻酔は医師が実施
- ・テスト麻酔時患者に異常所見を認めた場合は速やかに麻酔薬注入を中止し、人員確保と人工呼吸や局所麻酔中毒の処置準備を行う
- ・テスト麻酔が問題なければ、医師の指示にて麻酔処方箋を用いて、看護師・助産師で麻酔薬の追加を実施
- ・麻酔効果が全く得られない場合や片効きの場合はカテーテルの入れ替えを検討する
 - * 使用物品 神経麻酔専用 NR シリンジ 10ml 神経麻酔専用 NR 採液針 18G

4) 麻酔薬の使用方法

<初産婦>

① 1%キシロカイン 10ml は3回まで使用

1時間以内に痛みを訴える時、痛みが軽減しない時は医師に報告後、麻酔処方箋に従い下記の薬剤を使用

② 0.75%アナペイン 10ml+フェンタニル 2ml+生食 38ml=50ml を1回に 10ml

1時間以内に陣痛を訴える時は医師に報告後、1回 20ml 使用

<経産婦>

① 0.75%アナペイン 10ml+フェンタニル 2ml+生食 38ml=50ml を1回に 10ml

1時間以内に陣痛を訴える時は医師に報告後、1回 20ml 使用

<帝王切開手術>

* OPE 前 0.75%アナペイン 10ml+フェンタニル 2ml+生食 8ml=20ml ワンショット

* レスキュー： フェンタニル 2ml+生食 10ml=12ml ワンショット（6時間空ける）

1%キシロカインは6時間以内に痛みを訴える時に使用する

5) 麻酔（麻薬）処方箋

患者氏名					年齢		
使用薬品	フェンタニル注射液0.1mg						
数量	ml						
用法	分娩時の疼痛緩和として				手術時の麻酔として		
	①初産婦は1%キシロカイン10mlを3回まで使用				フェンタニル100 μ g 2ml		
	②フェンタニル100 μ g 2ml				0.75%アナペイン 10ml		
	0.75%アナペイン 10ml				生食 8ml		
	生食 38ml				合計20mlをワンショット		
	トータル50mlに希釈し、1回10mlずつワンショット						
	③アナペイン2mg/ml 100ml				レスキューとして		
	フェンタニル100 μ g 4ml				フェンタニル100 μ g 2ml		
	トータル104mlに希釈し、1回10.4mlずつワンショット				生食 10ml		
					合計12mlをワンショット		
合計施用量	ml						
発行日							
免許番号	第395320号			麻薬管理者	福嶺 紀隆 印		
施用者							

6) 局所麻酔薬中毒の治療

- ・イントラリポス輸液 20%の使用法（当院では体重 70kg 設定で投与）

局所麻酔薬中毒症状出現時、イントラリポス輸液 20% 100ml を 1 分間でボラス投与後 1000ml/h で持続投与する

ボラス投与後 5 分経過しても循環状態に変化がない場合は、再度イントラリポス輸液 20% 100ml を 1 分間でボラス投与を行う（ボラス投与は 3 回までとする）

同時に持続投与量は 2000ml/h に増量する

最大投与量は 840ml（12ml/kg）とする